

2018年度 スポーツ栄養学部門活動報告

スポーツ栄養学部門 部長 金子嘉徳
副部長 宮城重二
副部長 香川雅春

2018年度のスポーツ栄養学部門に所属する専任および兼任所員の業績は以下のとおりである：

1) 外部資金獲得

大沼久美子教授（実践養護学研究室）

2018年に、「ヒヤリ・ハット事例を活かしたアクティブラーニング型アレルギーリテラシー教育の開発」で基盤研究（C）に採択された。

香川雅春副部長（栄養科学研究所）

2018年度は若手研究（B）に採択された「女性の身体不満を誘発する要因についての包括的検証：日本・マレーシアの比較から」の研究が継続された。また、香川雅春副部長は2014年度から栄養科学研究所の太田敏子客員教授と共に、宇宙航空研究開発機構（JAXA）や理化学研究所など外部機関と栄養科学研究所の共同研究に研究実施者として参加しており、この研究からも外部資金を獲得している。

2) 研究活動

スポーツ栄養学部門に所属している専任および兼任所員が2018年度に実施した研究活動は以下のとおりである：

金子嘉徳部長（実践運動方法学研究室）

- ・2014年より東都大学野球一部リーグの國學院大學野球部、並びにユニバーシアードに常時出場し全日本学生体重別団体優勝大会で上位入賞している同大学柔道部への補食指導などの栄養サポートを2018年度も学部学生が中心となり継続し、運動前後の補食について検討している。
- ・2002年より年2期実施している近隣の中高齢者を対象とした運動と食事を組み合わせた運動教室は、2018年度で31期となり各回平均130名が参加している。ここでは、ポピュレーションアプローチとしてのフレイル予防について検討している。この成果は、栃木県の健康づくり運動指導講座、鶴ヶ島市「元気なまちづくりリーダー」養成講座、越生町「運動サポーター」養成講座等に活かされている。また、これらの成果は、女子栄養大学で開催された日本体操学会第18回大会で発表した。

- ・2016年2月よりパラオ共和国の保健省等と協働して、パラオの高齢者体力を測定し、その体力に対応したパラオのダンス要素を取り入れた座位での健康体操DVDを制作し、現地指導者に配布し普及している。

これら健康体操を制作した測定・調査データは、共同研究者の池田らが香港で開催された The 7th Asian Congress of Dietetics (ACD) で発表した。

宮城重二副部長（保健管理学研究室）らは、沖縄県久米島町において、2006年から久米スタディを開始し、特に児童・生徒と高齢者を中心とした調査研究と健康教育を実施してきた。

香川雅春副部長（栄養科学研究所）

- ・2010年から学外の公認スポーツ栄養士と共に行っているプロフットサルチームの栄養サポート（食事調査・身体計測）を2018年も実施し、その成果の一部を京都で開催された第5回日本スポーツ栄養学会で発表した。
- ・2014年度から共同研究者として参加しているJAXA や理化学研究所などとの共同研究が継続され、研究成果の一部が第91回日本細菌学会で発表された。
- ・2014年度から大沼久美子教授（実践養護学研究室）と鞠子佳香専任講師（実践運動方法学研究室）と共同研究として行っている埼玉県内の高校ラグビー部員を対象にした保健指導・栄養サポート活動を2018年度も継続し、怪我予防に向けた身体作りに対する研究を行った。この活動の一部を卒業研究および京都で開催された第5回日本スポーツ栄養学会で発表した。
- ・2015年度に若手研究（B）として採択された研究「女性の身体不満を誘発する要因についての包括的検証：日本・マレーシアの比較から」の最終年度として、データ収集および解析を行った。また研究成果の一部を50th Asia Pacific Academic Consortium for Public Health (APACPH) で発表した。
- ・2016年度に国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の研究者によって採択された挑戦的萌芽的研究にも継続して連携研究者として参加した。
- ・2017年度から東洋大学によるオリンピック・パラリンピック特別プロジェクト研究助成制度に申請した研究プロジェクトにも共同研究者として参加しており、研究成果の一部が国内外で開催された3つの学会で発表された（発表された4報のうち2報は国際学会での口頭発表として）。
- ・日本やオーストラリアなど10ヶ国の研究チームによるボディ・イメージに関する国際共同研究に共同研究者として参加し、データ収集を行った。
- ・修士課程の大学院生に対して指導を行い、研究成果の一部が国内外の学会で発表された。また、韓国運動栄養学会の第39回春季学術大会でポスター発表を行った内容が優秀発表賞を受賞した。
- ・複数の外部機関からの身体計測への協力要請を受け、学内外の国際身体計測技師および興味を持つ本学学生による計測チームを編成し、ラグビーやバスケットボールなど複数の競技団体に対して身体計測を実施した。

上西一弘教授（栄養生理学研究室）は、石田裕美教授（給食・栄養管理研究室）、小林正子教授（発育健康学研究室）とともに「成長期のライフスタイルと身体状況に関する研究」を継続中で、中学生・高校生の食事、運動、睡眠などと身長、体重、体組成、骨量などとの関係を縦断的に検討している。

大沼久美子教授（実践養護学研究室）は香川副部長（栄養科学研究所）と鞠子佳香専任講師（実践運動方法学研究室）との共同研究として、2014年度から行っている埼玉県内の高校ラグビー部員を対象にした保健指導・栄養サポート活動を継続し、怪我予防に向けた身体作りに対する研究を行った。この活動の一部は卒業研究および栄養科学専攻の実習として、学生の教育活動にも活かされた。

山下俊一教授（応用生理学研究室）は2018年度より香川栄養学園保健センター所長として、学生の学修やスポーツに支障をきたす不整脈や食物アレルギー等の健康情報を、必要とする科目担当者と安全・迅速に共有できるシステムを研究開発している。

2018年中に本部門に所属する専任・兼任所員によって発表された論文は以下のとおりである（五十音順）：

学術論文：

香川雅春准教授

- ・ Binns C, Lee MK, Kagawa M, Low WY, Scott J, Lee A, Zerfas A, Maycock B, Qiu L, Yusuff A, Raheem RA, Hamid S, Hokama T, Hairi NN, Lin JL, Bulgiba A, Khoo EM, Shakya P, Dahlui M, Karunathilake I. 2018. Infant feeding guidelines for the Asia Pacific region. *Asia Pacific Journal of Public Health*. doi: 10.1177/1010539518809823.
- ・ Hastuti J, Kagawa M, Byrne NM, Hills AP. 2018. Anthropometry to assess body fat in Indonesian adults. *Asia Pacific Journal of Clinical Nutrition*. 27 (3): 592-598. doi: 10.6133/apjcn.092017.02.

小林正子教授

- ・ 形態発育の季節変動. *体育の科学*. 2018. 68 (7) : 476-481.

3) 社会貢献

金子嘉徳部長は日本体操学会でフレイル予防の運動と栄養を組み合わせた健康づくり研究を全国に推奨している。また栃木県からの依頼による「平成30年度働く世代の生活習慣病予防のための運動実践について」講演や、埼玉県坂戸市の坂戸市健康なまちづくり審議会会長として坂戸市の健康づくり全般に関わり、2018年度は、第2次坂戸市健康なまちづくり計画中間年次改訂版をまとめた。

埼玉県越生町では2014年創設した「介護予防運動指導員養成講座」を継続している。2017年度より、鶴ヶ島市の健康増進委託事業「元気なまちづくりリーダー養成講座」を継続している。

香川雅春副部長は国内で最初の国際キンアンソロポメトリー推進学会 (International Society for the Advancement of Kinanthropometry: ISAK) 認定国際身体計測技師インストラクターとして、健康・スポーツ医学領域における国際基準である ISAK 基準に基づく身体計測技術を国内外で定期的に指導している。2018年度は本学在校生および学外からの希望者を対象に、ISAK からの承認を得て計 6 回 (坂戸キャンパス: 3 回, 駒込キャンパス: 2 回, 学外: 1 回) の国際身体計測技師認定コースを開催した。また2018年度から ISAK 基準が (公社) 日本栄養士会と (公財) 日本スポーツ協会共同の認定資格である公認スポーツ栄養士の養成カリキュラムに正式に採用されたことから、公認スポーツ栄養士養成講座を担当した (2018年12月)。また 2 月には香川雅春副部長が兼任准教授としてかわり、本学も包括的学術提携を締結しているクイーンズランド工科大学 (オーストラリア・ブリスベン) において、身体計測技術の習得を希望する学部生約20名を対象にワークショップを開催した (2019年 2 月)。

4) その他

2018年度には香川雅春副所長が受け入れ教員となり、3 組の外国人研究者および海外教育機関からの訪問者による本学の訪問および特別講義が開催された：

- Mr. Ken Beutel (Queensland University of Technology International College: QUTIC) 「オーストラリア・ブリスベンへの留学およびQUTICについての紹介」 (5月22日 (火))
- Prof. Colin Binns, Prof. Jane Scott (Curtin University), Prof. Peter Hartmann, Ms. Melinda Boss (University of Western Australia), Dr. Roslyn Giglina (Telethon Kids Institute) 「母乳育児に関する最新情報」 (10月12日 (金))
- Prof. Philip Baker の栄養クリニック訪問 (11月23日 (金))

以上